



「狭いながらも充実している」と今の仮設住宅での生活を淡々と語る反面、「今の環境では絵が描けない。人生の最後にもう一度絵を描きたい。」と残念な顔をされた。池田さんの絵は、富岡町の商工会や総合福祉センターに飾られていたので町民の方にはなじみ深いことと思う。静物画もさることながら、風景画、それも富岡町の風景が描かれている絵を見ると、懐かしさがこみ上げてくる方も多いことだろう。避難にあたって置いてきた絵が先日の企業帰宅時に関係職員に持ち出され、池田さんの手元に戻ったときは、「自分の魂が込められているもの。息子にあえたような気持ちだ。うれしい!」と話された。

池田さんは、NTTを退職される2年前に富岡町に戻り、公民館の油絵教室に通われた。70歳の時にアトリエも建て、本格的に絵の世界に入って行かれたとか。イギリス、フランス、イタリアなど海外にも取材旅行をするなど、まさに「絵は生きがい」の人生を歩まれてきた。「絵はそこに存在しないものを入れたり、あるものを消したり、それらを自然体に見せるのがその人の絵の力」…池田さんが絵を語る時の生き生きとした表情が何よりも印象的な出会いだった。(青木)

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。
三春の里応急仮設住宅自治会長：渡邊 高一さん



震災前は、岩井戸にある自宅のすぐ後ろの山にネットを張って、フランス鴨や日本キジを放し飼いにしていた渡邊さん。「自然の中を鳥達がさっそうと飛び姿を見ているだけで爽快な気分になるんだ」と笑顔で話してくれました。三春の里仮設は、富岡の仮設の中で一番小さい仮設です。小さいからこそ、最低でも一日に1・2回は顔を見られるように、出来る限り自分から目配りや声かけをしているという渡邊さん。「それぞれがお互いに声をかけあって健康管理をしていく仮設にしていきたい」と真っ直ぐな眼差しで話す姿から、仮設のみんなでこの現状を何とか乗り越えていくんだ、という強い思いが伝わってきました。(吉田)

みんなの広場 このコーナーでは、町民のみんなの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みんなの作品を紹介します!



ジッパーの開閉で巾着(写真左側)とバッグ(写真右側)に切り替えることができる「便利バッグ」。作者は緑ヶ丘仮設にお住いの北崎 時子さん。北崎さんはお店に並ぶ品物が気になると、それを参考にしながら自分なりに作っています。ご自宅には様々な手作りグッズが沢山並んでいました。

作品を持つ北崎 時子さん

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

8月25日(土) 午前10時～12時

開催場所：ふくしま女性支援センター
内 容：女性のための無料相談会
主 催：NPO法人しんぐるまざーずふおーらむ・福島

8月25日(土) 午後2時～6時

開催場所：安達太良(大玉村)仮設内G棟広場
内 容：安達太良仮設「夏祭り」
*えびす市場の出店、太鼓演奏、ジャンケン大会、子ども向けお楽しみコーナーなど内容盛り沢山です。

主 催：安達太良仮設自治会

9月1日(土) 午前10時～午後4時

開催場所：おだがいさまセンター

内 容：歩く人
*歩くことにより防げる病などを講習など通して正しい歩き方を教えます!
*参加者は手ぬぐいタオルをご持参ください。膝、足首の痛みを感じている方もご参加いただけます。

主 催：Oval Heart Japan (オーバル ハート ジャパン)

9月2日(日) 午前9時～12時

開催場所：南1丁目仮設集会所(富岡側)

内 容：歩く人
*開催内容、主催は上記と同様です

9月2日(日) 午前10時30分開演

開催場所：おだがいさまセンター

内 容：音楽コンサート
*日本の歌からミュージカル、クラシックまで演奏されます。

主 催：Keep Our Hope Alive!! 星々の音楽隊

9月5日(水) 午後2時～4時 毎月第1・第3水曜日

開催場所：郡山総合福祉センター1階 研修室
〒963-8024 郡山市朝日1丁目29番地9号

内 容：茶話力フェRococo ～ろここ～
参加費用は無料(内容により材料費がかかる場合があります。)

*参加希望の方は日程や会場が変更になりますので事前にお申込み下さい。

問合せ先：郡山社会福祉協議会(担当:生活支援相談員)

TEL 024-932-5311

受付時間：平日午前8時30分～午後5時

みてやっぺ!

AED講習会&被災者支援連絡協議会



日本赤十字社の方を講師に迎え、AEDの使い方などを教えていただきました。



会場には沢山の受講者



心肺蘇生法の実習



講習会も終わり、参加者同士の交流会

7月23日(月)、被災者支援連絡協議会主催のAED講習会が「おだがいさまセンター」で行われました。参加者は富岡町消防団をはじめ保健師、役場の健康福祉課の職員など常に町民と関わる現場の方々が中心でした。講習会では日本赤十字社から講師を招き、実際に人形を使って心肺蘇生法を行いました。参加者同士「これで良いのかな?」「もっと強く押さないと!」とお互いに確認しました。

いながらAEDの使い方を学んでいました。日本赤十字社の講師は「AEDを使って助かる命があるのは事実で、それを助けられるのはその場にいる自分の勇気次第です。」と話され、参加者も命を守る力を持つことの大切さを再確認することができました。講習会終了後、参加者同士の交流会も行われ、参加した団体同士の繋がりも固まりました。

住民力アップ講座

7月12日(木)
第3回の地域再生

のための住民力アップ講座が「おだがいさまセンター」で行われました。この住民力アップ講座は県生涯学習課主催で、富岡町の区長、各避難先での自治会長、連絡員を対象に全6回開かれるものです。今回の第3回は福島大学准教授の丹波 史紀さんによる「住民の役割と行政の役割」という講話とワークショップが行われました。参加者は「住民の役割」「行政の役割」それぞれの役割について互いに話し合い、何よりも「考え方話し合う」ことが「住民力」につながることを参加者同士感じていました。9月13日(木)開

催の第4回地域再生のための住民力アップ講座は、新潟県中越防災安全推進機構復興デザインセンター長の稻垣 文彦さんを講師に迎え、新潟県中越地方の視察で1日を通して行う予定になりますので、是非ご参加下さい。



おだがいさまセンター(富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)

電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334

制作 バズ・クリエイターズ ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama





FM便り ～パーソナリティ紹介～ 古賀徹さん



「おだがいさまFM」から皆さんに声を届けてくれているパーソナリティを、今週から一人ずつ紹介します。

「おだがいさまラジオランド」(周波数 76.9MHz、毎週月曜日～金曜日の午後 7 時～9 時に生放送)月曜日担当の古賀徹さん。古賀さんの素敵な声に魅了されている方も多いのではないでしょうか。古賀さんはビッグパレットで「ミニFM」を立ち上げる時からのメンバーで、ラジオの業界でずっと仕事をしてきたプロ中のプロ。現在は「おだがいさまFM」のスタッフとして、パーソナリティとしてだけではなく、番組企画、編集、取材などの役割を担い「おだがいさまFM」を支えてくれています。

おだがいさま工房便り



染めも織りも、回数を重ねていくごとにコツがつかめてきたようで、少しずつ織り糸の色目が出てくる様子を楽しみながら過ごしています。

織り機も増えました。8月8日(水)には自主研修も行います。研修生は意欲にあふれています。

再会レッスン開催～いわき～

7月22日(日)、いわきゆつたり館において「エクスプレションD.S.小松教室」の再会レッスンが行われました。昨年7月のビッグパレットふくしまでの発表・再会以来2回目となる再会レッスンに、生徒19名と保護者の方々が参加しました。1年ぶりのレッスンとは感じさせない活き活きとしたダンスを披露したり、若井和美さんの手芸教室では親子で力ゴ作りを体験するなど、再会の集いを楽しみました。子どもたちの輝いた笑顔が最高のプレゼントとなりました。(文:エクスプレションD.S.小松教室代表 小松恵里子)

1年ぶりの再会を楽しみました♪



手芸教室を開催した若井和美さん

楽しい時間をありがとうございました!

おだがいさまファーム通信

7月27日(金)、畠隊のメンバーが集まり、困っていることや工夫していることなどの情報交換を行いました。その中で明るい話がありました。以前の大雨で富田仮設の畠の候補地が浸水していた件で、「株式会社ボタ」さんのご協力を頂いて、畠の明渠排水作業、耕うんを行い、8月下旬から9月上旬には開園することになりました。嬉しい限りです。

※土壤の乾き具合により開園時期がずれる場合があります。
畠隊に入って畠仕事をしてみたい方、興味のある方、どなたでも大歓迎ですので参加したい方は「おだがいさまセンター」までご連絡下さい。

おだがいさまセンター(遠藤、北村、松本)TEL024-935-3332



レジーナの森で交流会

7月29日(日)、京都災害ボランティアネットさん主催のバス旅行で羽鳥湖高原レジーナの森(岩瀬郡天栄村)へ行きました。バス旅行には郡山市内の借り上げ住宅や富田仮設住宅にお住いの方々、ボランティアの大学生も参加し、一緒に赤べこやだるまの絵付けをしたり、昼食を食べたり、温泉に入ったりと楽しく交流しました。とても暑い日でしたが、高原の空気はとてもさわやかで気持ちのいい時間を過ごせました。参加した皆さんも「また来たいね」「またこういう旅行したい」と満足した様子でした。



楽しい時間をありがとうございました!



この夏一番の思い出!!

笑顔の子どもたち

8月1日(水)～3日(金)、長野県川上村にある武蔵野市立自然の村で、「むさしの福島ともだちプロジェクト」が開催されました。この企画は、武蔵野市にお住いの市民有志(むさしの福島ともだちプロジェクトを進める会)の方々が募金を募り、とみおか子ども未来ネットワークが子どもたちの募集を行い実現したものです。当日は、富岡から各地に避難している7組21名の親子が参加しました。久しぶりの友達との再会に、子どもたちは終始興奮気味でした。2日目の川遊びでは、サンショウウオをみんなで探しました。その後食べた、川で冷やしたおやつの桃は格別のおいしさでした。夜の花火大会の頃には、花火に負けないぐらいの笑顔の花が咲いていました。お別れのとき、子どもたちはまた必ず再会することを約束し、それぞれの生活にもどっていきました。参加した大人たちも、富岡の子どもたちの笑顔に元気をもらった3日間でした。

「まけないぞう」交流会

7月26日(木)、いわき市の泉玉露仮設集会所で、「まけないぞう」交流会が行われました。「まけないぞう」とはタオルで作るゾウで、阪神淡路大震災の時に生まれました。その後、各被災地に伝わり、ビッグパレットふくしま避難所には、中越地震被災地の旧山古志村の「グループかたくり」のお母さんたちが、伝えてくれました。現在も引き続き「まけないぞう」を作っている玉露仮設に「グループかたくり」の方々が訪問してくれました。富岡に伝わった「まけないぞう」は、富岡の誇りである桜をモチーフにして「さくら咲かせるゾウ」として販売されています。お茶を飲みながらの談笑は大いに盛り上がり、「今度は山古志」と再会を約束しました。



さくら咲かせるゾウ

平沢仮設で交流会

7月26日(木)、三春町の平沢仮設で仮設内の交流会が行われました。この日は住民の方々の会費制による焼き肉パーティーに、ハートネットふくしまの方々から振る舞われた餃子もあって大満足♪食後はグランドゴルフやbingoゲームをして、夕方から夜にかけて皆さんで楽しいひと時を過ごしていました。

グランドゴルフを楽しむ住民の皆さん



ハンドマッサージ

7月27日(金)、28日(土)の2日間に渡り、ナリス化粧品主催のハンドマッサージが行われました。27日の午前中は「おだがいさまセンター」午後は「ふくしま絆カフェ富岡」で、28日(土)の午前中は「南1丁目」午後は「緑ヶ丘」で行いました。どのエリアの参加者も「肌が若返った感じがする」「気持ちいい!」などと口々に喜びの声を上げ、きれいになった手を見ながら大満足の様子でした。



交通安全母の会

7月23日(月)、南1丁目仮設の集会場で交通安全母の会主催で昔遊びが行われました。児童クラブの子どもたちや南1丁目の住民も参加して、メソコ、お手玉、野外では、竹馬、バゴマ、けん玉など様々な遊びを体験しました。子どもたちとお年寄りが一緒になつて昔懐かしい遊びを楽しんでいる姿が見られました。

懐かしい遊びを楽しんでいます

